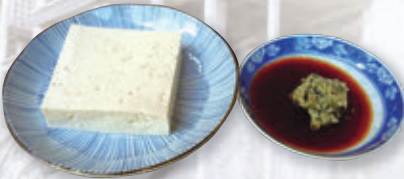


主な年中行事

〔1月元旦〕修正会（初詣）
〔2月3日〕節分・星祭（豆まき）
〔4月1日〕慶雲入峰（山開き）
〔4月18日の次の日曜日〕春会式（三徳縁）
〔7月18日〕夏会式（大般若会）
〔8月16日〕万灯会
〔10月最終日曜日〕秋会式（炎の祭典）
〔12月31日〕除夜の鐘
〔毎月18日〕定例護摩供



▲三徳とうふ



▲きなことちもち



▲神住寺（カステラ）

	名称	電話 (0858)	fax (0858)	宿泊 人数	食事 人数	ご紹介
宿坊寺院	輪光院	43-2667	43-2661	-	25	鳥取藩主池田公が三徳山詣の際の食事処。江戸時代の佇まいが残る閑静な寺院で、季節の食材を使用した精進料理をどうぞ。
	正善院	43-2668	43-2707	-	-	三徳山を説明するガイドンス施設も兼ねた寺院。鳥取藩主池田公も愛でた鳥取県指定の池泉式庭園も拝観出来ます。
	皆成院	43-2882	43-2922	-	70	中国四十九薬師霊場、第四十三番札所。除けのお寺で精進料理をどうぞ。（個室あり）

※宿坊と食事をご利用の場合は、3日前にご予約をお受けします。料金はご相談に応じます。

茶屋	谷川 天狗堂	43-2663	43-2669	-	30	山菜定食、山菜うどん等地元で採れた山菜を利用しています。自家製三徳豆腐、黄粉とちもちも是非ご賞味ください。 営業時間：11:00～15:00（不定休）
	白狼堂 —Hakurodo—	43-0743	43-0743	-	-	三徳山にちなんだ「神住寺（カステラ）」や三朝神倉大豆を使用したグルテンフリーの「投入どーなつ」が人気。小さな店内に焼き菓子やカステラスイーツが並ぶ。 営業時間：10:30～15:00 定休日：火・水

※団体のご利用の場合は、3日前にご予約をお受けします。料金はご相談に応じます。冬季は閉店する場合がありますのでご確認ください。

主な文化財

国宝 ◆投入堂 附 愛染堂（三佛寺奥院）

重文 ◆木造蔵王権現立像8体 ◆木造十一面観音立像 ◆文殊堂

◆地蔵堂 ◆納経堂 ◆銅鏡



▲三徳山名物料理（精進朝食一例）
各お寺と茶店では名物の豆腐や山菜料理などご賞味いただけます。
お寺精進料理要予約。（朝食 2,000円（税別）～
昼食 4,000円（税別）～）

福徳

遙拝所から観た投入堂
附 愛染堂

智徳

千軒原から観た地蔵堂・文殊堂

寿徳



炎の祭典（採燈護摩大法要・火渡り神事）



三朝温泉河原風呂

三徳山のはじまり。

その開山は慶雲3年(706)にさかのぼります。
役行者が3枚のハスの花びらを散らし、「佛教に縁のあるところに落ちるように」と祈ったところその1枚が伯耆の三徳山に落ち、この地を修験道の行場として開いたのがはじまりとされています。

その後、嘉祥2年(849)慈覚大師によって阿弥陀如来・大日如来・釈迦如来の三尊が安置されたので、天台宗三徳山三佛寺と称し、堂舎38宇・寺3千軒・寺領1万町歩・3千石を領していました。

平安時代には山岳仏教の霊場として信仰され、全国森林浴の森百選にも選ばれた、豊かな自然と山中に点在する諸堂は往古のまま今に残されています。

志納・拝観料案内

	本堂・宝物殿まで 午前8時～午後5時 ※宝物殿は4時30分まで	投入堂まで 午前8時～午後3時
大人	400円	1,200円
小人	200円	600円

※団体割引あり(20名以上)
※往復所要時間：登山事務所から約1時間30分～2時間
※参拝登山の受付は必ず2名以上からとなります。
※険しい箇所あり、十分ご注意ください。凹凸のある運動靴かトレッキングシューズで登ること(靴はすべり止め金具の付いた登山靴は御遠慮下さい。)
※雨天荒天、積雪時は、参拝登山禁止。
※修行道・参拝道での金品の紛失・怪我等責任は負えません。十分な自己管理をお願いします。
※最新の情報はwebまたはお問い合わせ下さい。
※お子様は小学生から登山可能です。

問い合わせ

山の状況・入山条件等については三徳山公式サイトへ

三徳山三佛寺

〒682-0132
鳥取県東伯郡三朝町三徳
☎0858-43-2666
FAX 43-2661
https://www.mitokusan.jp



一般的な案内はこちら

三朝温泉観光協会

〒682-0123
鳥取県東伯郡三朝町三朝
☎0858-43-0431
FAX 43-0430
https://misasaonsen.jp



みとくさんさんぶつじ

三徳山三佛寺

慶雲3年(706年)開山



三佛寺奥院

附 愛染堂
あいぜんどう

国宝 投入堂
なげいれどう



国指定 名勝・史跡
国立公園 三徳山
日本遺産 三徳山・三朝温泉

三徳山・投入堂を
世界遺産に!

鳥取県三朝町

中国観音霊場 第三十一番札所 伯耆観音霊場 第二十九番札所 百八観音霊場 第三十六番札所

交通

お車で

中国自動車道 院庄ICから約1時間10分
米子自動車道 湯原ICから約1時間

路線バスで

三朝温泉から約15分(7km)
※路線バスは便数が少ないのでご注意ください

JRで

山陰本線 倉吉駅からバスで約40分

飛行機で

鳥取空港からシャトルバスで約60分(倉吉まで)

○日ノ丸バス 0858-26-4111
日ノ丸ハイヤー 0858-22-3155
日本交通タクシー 0858-22-7111

三佛寺宝物殿

宝物殿には、指定文化財を含め多くの寺宝が収蔵されており、入山された方は常時拝観できます。三徳山の特質は、山岳信仰の中から形成された独自の文化を示す国宝「投入堂」と、そこに祀られた「蔵王権現像」7体に象徴されます。像はいずれも平安後期の造立です。

- 収蔵物
- 投入堂棟札・古材（国宝）
 - 木造蔵王権現立像 7体（重文）
 - 木造十一面観音立像（重文）
 - 銅鏡（重文）
中国浙江省に同型で造られた鏡が存在します。
 - 源頼朝奉納刀
 - 釈迦誕生仏 ほか

拝観時間 8:00～16:30
拝観無料（拝観料は入山料に含まれる）
※冬期（積雪状況による）は休館する場合があります。

三佛寺 奥院 国宝 投入堂（表紙）
投入堂は、役行者が法力で岩屋に投げ入れたと言われており、この名がついています。標高520メートルのところ、後部を岩屋にすえ、前面は断崖に向けての舞台造り。近づく道すらない垂直な崖に浮ぶとも建つとも表現しがたい優美な姿をかもししています。年輪年代測定により、平安時代後期の建築であることが実証されました。神社本殿形式で、この時期まで遡る建物は全国でわずかに3棟。この内の2棟、投入堂と納経堂が三徳山に在ります。

金剛蔵王権現立像（投入堂正本尊）
慶雲三年（七〇六）役行者により末法の世の衆生済度せんがために三徳山修験道の中心的な建物である投入堂の本尊として安置された。体内から発見された願文により康慶の作と判明した。

三徳山全景



標高 520m
標高差 200m
所要時間（往復）約1時間30分～2時間
参拝登山事務所から道のり約600m（標高差約200m）



地藏堂（国指定重要文化財）
【室町時代末期の建造】
文殊堂から岩に手をたずさえて歩めば地藏堂に到着します。規模・構造とも文殊堂によく似たお堂です。



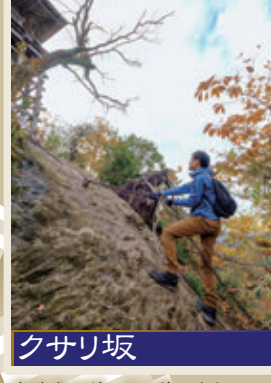
鐘楼堂（県指定保護文化財）
その昔、険しい山路をどのようにして運び上げたのかとても不思議に思われます。（重量2トン）



国宝投入堂
三佛寺の奥院である投入堂は断崖絶壁の窪みにきちんと納まるように建てられ、その建築美は国宝に指定されています。近年の調査によると平安時代後期に建立されたと言われています。



カズラ坂
さながらフィールドアスレチックのように木の根のいりくんだ急斜面をよじのぼります。



文殊堂（国指定重要文化財）
【安土桃山時代の建造】
宿入橋から投入堂へはまさに道なき道。その中間を過ぎたあたりに文殊堂があります。岩上に建立された舞台造りとなっていて廻り縁に立つと大山が遠望できます。



宿入橋
山門をくぐり、宿入橋を渡る。ここから参入り（行の始まり）です。



参道入口
ふもとから本堂に至る 300m の石段の両側には、皆成院・正善院・輪光院の三つのお寺が並んでいます。



三佛寺本堂（県指定保護文化財）
老杉の繁る境内には、千有余年の長い間、霊地として保護され、培われてきた仏教の神髄が強く残っています。



三徳山参道入口
三朝温泉へぜひお越しください